

【高等学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	佐賀県立伊万里実業高等学校(商C)[定時制]
1 前年度 評価結果の概要	〇コロナウイルス感染予防策を講じながら、おおむね順調に学校行事を行うことができた。オンラインによる会議や研修会等への取組も多く取り入れてきた。今後も効果的活用をしていきたい。 〇進路指導においては、早め早めの指導体制で臨んだことが功を奏した。今後も全日制の求人情報を鑑みながら早期から取り組んでいきたい 〇いじめ問題も3件発生したが、早期の発見と職員一致の体制で臨んだことで、悪化を招くことなく解決へと導くことができている。今後もいじめの早期発見・解決に組織的に努めていく。
2 学校教育目標	心身ともに健康でたくましく、「至誠」と「礼節」を重んじ専門的知識・技術を生かし社会に貢献し愛される人材を育成する。
3 本年度の重点目標	”「Know」（農）&「Show」（商）” ～超絶技巧～ をスローガンとして、心身ともに健全な人材の育成に努めるとともに、学習意欲を高めさせ、地域に貢献し愛される生徒の育成を目指す。 〇心身ともに健康な生徒と安全安心な学校づくり 〇学習意欲を高め、確かな学力習得（修得）と進路実現を図る 〇次世代を見据え、地域に貢献できる人材の育成を図る

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者		
(1)共通評価項目												
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価				
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言			
●学力の向上	○基礎学力の定着	○基礎学力テストで50%以上正答した生徒が80%以上 ○出席率95%以上	・授業時間の確保。 ・授業実施率90%以上。 ・気になる生徒への声かけを行う。	・		・			教務			
	○専門教科指導の充実	○少人数授業のメリットを生かした個別指導の機会を増やす ○各種検定試験の合格率90%以上	・授業ごとに習熟度を確認し、遅れている生徒へ課後に個別指導を行う。 ・単元ごとに小テスト等を行い、理解度を確認させる。	・		・			商業			
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○講演を受けて「ためになった」という趣旨の文言が90%以上	・人権・同和教育、情報モラル教育の講演会の実施。 ・HRや授業の様々な場面で生命の尊さ他者への思いやりの大切さを話す。	・		・			教務			
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「いじめの問題に関する点検項目」に対し、95%以上の職員が全て「おおむねできている」「できている」の回答	・「いじめアンケート」を隔月実施、「生活アンケート」を前後期各1回実施 ・生徒に関する情報交換・協議会を毎月実施	・		・			生徒指導			
	◎★ふるさと佐賀(伊万里)への思いを醸成するための教育活動	◎「佐賀県(伊万里)に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」と回答した生徒が90%以上 ★郷土の人材を活用した講演会等を年間1回以上	・「佐賀語り」等を活用した授業に取り組む。 ・郷土の人材を活用した講演会(今年度は伊万里の祭り・民俗芸能を予定)を実施する。	・		・			地歴公民科			
	○生徒主体で生徒会活動に関する行事の運営をさせる。	○全校体育やクリスマス会で生徒会役員で行事を運営させる。	・全校体育やクリスマス会を実施する。 ・定時制・通信制体育大会の練習で人数が不足している競技については、教職員も共に練習に参加し士気を高める。	・		・			生徒会			
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒95%以上 ○給食の喫食率80%以上	・喫食調査を毎日実施し、生徒の健康状態を併せて把握する。 ・食生活に関する面談を実施し、実態を把握する。 ・「給食だより」を毎月発行する。 ・食育アンケートを実施(9月)し、その結果をもとに講話を行う(1月)。	・		・			給食			
	○健康管理能力の向上	○検診結果で治療を要する生徒の治療受診率80%以上	・登校時に検温、健康観察を行い、日々の健康状態を把握する。 ・「保健だより」で健康についての情報を提供する。	・		・			保健			
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・毎日の定時退勤推進 ・学校閉庁日の設定 ・出退勤管理システムや定期的な面談等による日常チェック ・定期的な業務バランスの確認 ・ペーパーレス化の推進	・		・			教頭			
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目												主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価				
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言			
○自己実現の充実	○進路指導の充実 ○キャリア教育の充実 ○希望進路の実現	○在校生の就業率を80%以上をめざす。 ○卒業予定者の進路決定率を100%にする。	・1年次から、推奨しているアルバイト等の就労体験を通し、社会性を身に付けさせ、進路意識を高める。 ・卒業生に対し、日ごろの教育活動を通して進路意識の啓発を行う。 ・全日制進路指導部および、ハローワークと連携し、進路情報を収集して、生徒に提供する。	・		・			進路指導			
★定時制課程のPR	★定時制ホームページによる情報発信の充実	★最低週1回はホームページを更新する。	・「伊実定時制の風景」を創設し、生徒の活動や校内の様子等を小まめに発信する。 ・再度見たくなるような魅力的なホームページの作成に努める。						教務 教頭			
○教員の資質向上	○授業改善による教員の資質向上	○生徒による授業評価3.4以上(4段階)	・年度中期及び末に生徒による授業評価を行い、その後の改善に生かす。 ・授業評価、アンケートの結果を基にした、職員による授業改善協議(校内研修)を実施する。 ・生徒や職員の自宅待機期間中等、オンライン授業・オンラインHRの実施が最善の場合は実施する。職員のオンライン研修会も増えているので、全体的な操作スキルの職員研修を行う。	・		・			教頭			

●…県共通 〇…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------